

令和元年 10 月 13 日 台風 19 号による枝川地区浸水被害について

ひたちなか市立枝川小学校 校長 宮田 聡

台風 19 号の災害により被害に遭われましたすべての皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、学校復旧に向けてご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。

12 日に東日本を襲った台風 19 号により那珂川が増水し、13 日未明より枝川地区には避難勧告が発令されました。那珂川に流れる支流のバックウォーター現象が発生し、午前 6 時には早戸川流域で越水による浸水被害が発生しました。学校周辺でも鳴戸川・下江川の水位が急速に上昇し、9 時には周囲の道路や畑が冠水、11 時 30 分には学校敷地内、駐車場・校庭も冠水しました。しかし、その後の水位は上がらず、校舎内への浸水はあと 5 cm というところで免れ、夕方には水が引きました。

児童の家庭では、7 名（5 家庭）で床上浸水、2 名（2 家庭）で床下浸水の被害があり枝川地区全体では、床上浸水 104 戸・床下浸水 224 戸（市生活安全課報告）の状況でした。学校としては、冠水被害により花壇に粘土質の泥が溜まり小石が流入しその後の長雨も影響して草花が枯れ、池の金魚も流されてしまいました。子どもたちがかわいがっていた亀もいなくなり、校庭の体育倉庫は 40 cm の浸水で体育備品に多少の影響が出ました。校庭も泥が覆ったので、水はけも若干悪くなり持久走大会の練習が十分できませんでした。

被害から 1 ヶ月が過ぎ、市教委のご支援もあり花壇の土入れ替えやパンジー苗の提供も市公園緑地課から援助いただけることになりました。

なお、ご心配をおかけしましたが、10 月 15 日はもともと学校休業日であったため、16 日から給食提供も含め学校授業・行事等はすべて予定通りにできましたことを申し添えます。様々なご支援・ご協力、本当にありがとうございました。



